

2016年11月1日

報道関係各位

株式会社三菱地所設計

中国杭州での当社設計プロジェクトが竣工 杭州升華悦晟金融中心

株式会社三菱地所設計（所在地：東京都千代田区、取締役社長：大内政男）が中国杭州市で設計を進めてきたオフィスビル「杭州升華オフィスビルプロジェクト」が今年6月に竣工、9月に一部オープンしましたのでお知らせします。

本プロジェクトが立地する杭州市濱江区は、世界遺産で有名な西湖から約5キロに位置し、杭州市を流れる銭塘江に面しています。また杭州の新しい国家高技術産業開発区（以下高新区）としても注目されています。2012年12月に行われた3社による招待コンペでは、当社が提案した、緑が多く自然環境に恵まれた杭州の特徴を活かし、周囲やアプローチからの視点も考慮に入れた配置やファサードが評価を受け、基本設計業務を受託しました。シンプルでありながらも力強いデザインで杭州の街並みに調和し、本エリアにおける新しいシンボルとなっています。

当社は上海に、2007年に現地事務所を開設し、2011年に現地法人を設立しました。ここを拠点に、中国において設計、コンサルティングの業務を着実に拡大してまいりました。本施設は当社として中国で完成した初の大型設計プロジェクトであり、現在、北京、上海、杭州、長春、西安など各地でプロジェクトが進行しています。これからも、当社が持つ最先端のデザイン力、技術力をもって、中国における建築、都市づくりに貢献してまいります。

【杭州升華オフィスビルプロジェクト 概要】

所在地： 中華人民共和国浙江省杭州市濱江区江陵路

事業主： 升華地産集団

用途： オフィス

敷地面積： 11,017 m²

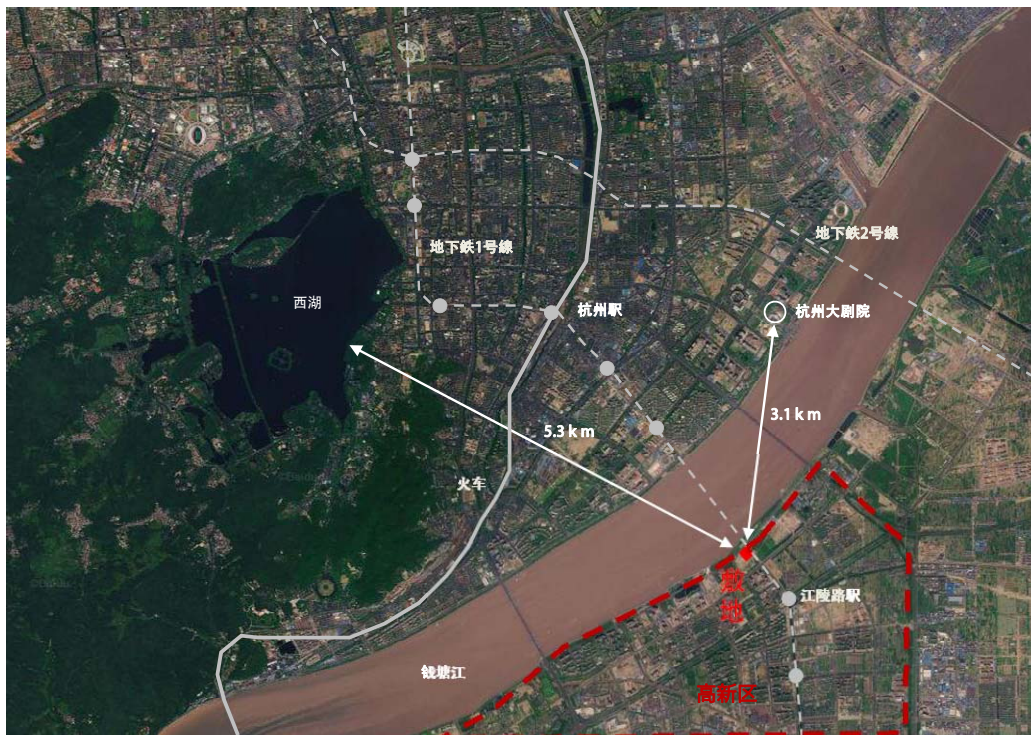
延床面積： 78,964 m²

構造規模： RC造、地下2階地上24階、高さ115m

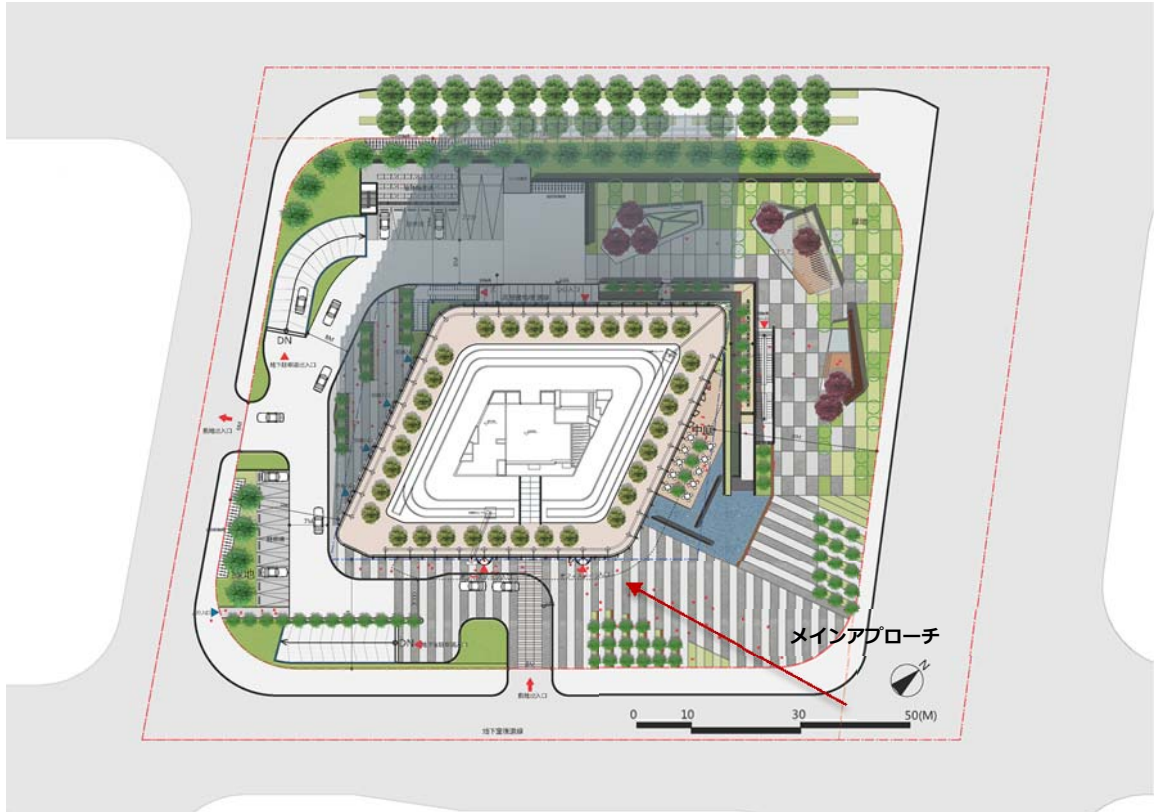
竣工： 2016年6月

【当社提案の特徴】

- ・ 銭塘江に面する平行四辺形をした特殊な敷地形状を考慮し、リバービューを最大限確保する菱形の平面計画。
- ・ 「杭州の大樹」をコンセプトに、緑多き杭州の街並みに調和しながらも特徴を持たせたファサードは、銭塘江からの視点に対して、平行四辺形の鋭角側の角を向け、建物がシャープに見えるように配慮。同時に駅からの視点に対し、縦フィンで構成された2枚の外装でボリューム感を軽減した。
- ・ ファサードの縦フィンは日射遮蔽の省エネ機能だけではなく、フィン形状を非対称系にすることで、見る場所によってビルの表情を変え、単調さを解消した。
- ・ オフィスは3層吹き抜けのエントランスロビーにより、オフィスの付加価値を高め、ガラスカーテンウォールにより人を迎え入れるファサードとした。
- ・ 北側に設けたVIP来賓専用のクラブハウスがオフィスの付加価値を高めるとともに、豊かな自然に育まれた杭州のゆったりとした風土に合わせ、ホスピタリティの視点をキーとし、エントランスロビーの一部にカフェを併設したラウンジコーナーや、地下1階にサンクンガーデンと一体となった社員食堂を設け、オフィスワーカーの快適な日常生活を実現している。



市内における位置



配置図



銭塘江側外観



エントランス側外観



クラブハウス



地下社員食堂（開放感のあるボイド）
